足の型

WA 7
(40)
263

むかしきのこゝろへ伊さうきひたまきし心
地乃のちいてめぐしくありなきひとくそこえ
とかくなやまきさる給事なさしなかりぬ
はくしういわく様く年月さ
さね 中 りしをかくいひくわえあまり
徳さり給つるを流のおもかしけく事うさ
田明しおはしまそをされ来世給りんこそ
をえいゆうかくおもし身つうきのれ心
ちにをこれ世りめあと かくうつめさ
我かゝし母まゆし為ね御身寳をしわたり

むかし紀の人へ傳へきゝてひたまへ剣し流佛
地のゝちいてめぐしくありなきひくそこえ
くかくなやまさり給事むかしなかりぬ
いろ〳〵くしういわゝ神く年月さ
あ[illegible]まえりしをかくいかくわえうみなり
御さり給つると流のおもかしぶけく事なき
正明と行しもとそれ来也給りんこそ
それはしゐつくかしりつうるの心
ちにもとみ世りあわをかくうわめさ
哀かしゐましく給ね御身悲しくあるり